

<テーマ 1> 就学援助事務の手引きの交流について

○石狩市の就学援助事務の手引き作成にあたり、千歳市の就学援助事務取扱要綱の検証を行った。

・給食費はセンターで対応。学校通さず。学用品費は支給前に未納家庭について報告をし(該当者のみの選択が可)、学校長口座払いにできる。医療費は随時。医療券はない。年度当初に渡して終わり。養護教諭が担当。学校経由で保護者への通知がある。学校で封筒詰めする。6月に学用品費支給。

・27年度からPTA、クラブ部活動、生徒会費が支給されるようになった。

・申請書の様式に学校長の押印が必要。平成28年度以前は学校の意見欄があった。所得で判断するなら学校長の意見、押印は必要ないのではという意見が事務部会で出ていた。ただ、職印の欄をなくしてしまうと、市教委にきている申請書が学校に戻ってなくなるのでどうなのかという議論あり。

職印を押す必要のある市町村は沢山ある。就学援助の定義が、保護者の事情によって申請するものなのか、学校側で必要と認められる家庭に対して申請するのかによって押印するかどうかの議論が変わってくる。子どもの貧困対策の観点から見ると、学校長の押印があるということは家庭の事情を学校が把握しているということになる(学校側の意識表示)ので、そのへんの議論が重要になるのではないかな。

・修学旅行準備金は今はない。

・教材費は、学校長口座に全額入り、納付すべき金額を差し引いて保護者に差額を返す、という記述は石狩市の手引きに入ってた? →確認

○学用品費の学校長払いについて

・学用品費の品目、金額をA4一枚にまとめるのが大変。申請した項目については今回は通った。学力テストは教科を書けば申請OK。

・学用品費の引き去りの文書を家庭に配布したところ、1、2件問い合わせがあった。

・課題としては、どこまでの項目まで対象にしてもらえるか。必要ないものをやめてもらったり、申請できないものを減らしてもらったりするのがいいのでは。

・生活保護基準が切り下げられれば、就学援助も切り下げられるので、数が減っている。

・千歳市は未納分金額の調査があつて、その金額が振り込まれるので、石狩も項目の記入なしで簡素化するよう持っていくのがいいのではないかな。

・他市町村のやりかたを調べてみるやり方はある。他市町村は未納だから学校側で引っ張れる。

・北広島は個人負担がないように就学援助で補助してくれる。

○就学援助事務の手引き・確定版および様式についての検討

・学用品費払いはのちのち追加の方向で。

・対象費目 通学用品費を追加

・対象費目と年間の流れをドッキングしたものが欲しい。

・対象費目に金額を掲載しては?

・細かい部分が知りたい(例えば修学旅行の食事代を宿泊費に入れる自主研修中の食事はどうなのか、など

・補助対象経費の内訳の定義を知りたい。(ない項目がある)

- ・PTA 会費に(上限あり)を追加? どう載せるか後日調査研修部で検討
- ・班別行動のときのかかった経費の違いをどうするか。該当校に個別に確認。
- ・手引きと中身の文言の整合性があつたほうがいいのでは。

○次年度の就学援助家庭へのアナウンスについて

- ・継続の人のチェックについて、教育委員会から協力を得られないかという打診があつた。

中学校では修学旅行の関係もあり必ずチェックしているのだが、今年度家庭に確認して出さないという話になったが住民税非課税で後日認定になり、5月認定を4月認定に繰り上げ修学旅行もお金が出ることになったケースがある。担任が変わり、申請が通ってない旨の連絡があり、委員会に直接持って行ってもらい申請してもらったケースもある。文書を読みやすく変えてもらう必要はあるのでは?

<テーマ2>2016年度石狩市教育予算要望書の交流について

①予算要望グループより説明:資料の通り

②印刷関連費(レンタルプリンター含む)の検討

北中:レンタルプリンターを使用、昨年8月から導入。カラーレーザーを使用することが多かったが、それが減った。トータルで見ると少ししか減っていない。思ったより他の機械を使用する頻度は減っていないが減少傾向ではある。レーザーのトナー、インクの購入は減った。

南線:レンタルプリンターの項目間違い、訂正

双葉小:昨年10月にプリントフリー導入。コピーの使用量は減った。今年見てみないとわからないが、入れた価値はあつたのではないかと。双葉小くらいの学校規模では費用効果があるのでは。

まだ年数が経っていないので、継続して調査をしていく方向で。

- ・20校中12校が増加傾向。なぜ増えた? チャレンジテスト、輪転機の更新、など?

<教材費関係>

教材費として徴収しているもの全て掲載した資料を最終的には作成する。

極力正確なデータを掲載したいので、8月末前に訂正お願いします。

③スキー学習バス代について検討

花川南小備考に、3、4年は一回実施と記入

福祉バスはりんくるが持っている

厚田中備考に1、2年2回実施、スクールバス利用

石小、南線小、花小→この金額は一回分?

<楽器購入5ヶ年計画>

どの学校も吹奏楽部の部員が増えているので、どこの学校もネックになっている。

要望の合計額を追加する。

<学校図書館整備に係る消耗品>

参考;南線、南小、双葉小は別。花小、緑苑台は専属、厚田はどこかと兼任、八幡はたまに来てくれる。

基本メインでいる学校が対象。小規模校は単年度事業？

今年予算つけてもらっている学校も次年度のために掲載したほうがいいのかでは。

バーコード代は要望事項に書いたほうがいい。もう一度該当校に調査。

④修学旅行、宿泊学習の就学援助対象経費以外の経費調査について

今回の予算要望書の資料とはせず、もう少し正確なデータとして今後も交流していきたい。

⑤児童1人あたりの配分予算の推移の資料について

(資料に不備がある可能性。再作成)

⑤共通課題として掲載できる事項

なし

<テーマ3>ふらのフォーラムについて

時間が押しているため後日還流

<テーマ4>加配校における事務職員の職務の交流について

・西部中学校の事例紹介

コミュニティスクール加配のいる学校に赴任。加配事務職員はコミュニティスクール委員の広報部に入り積極的に活動を行っている。行政職にも教員にも寄らない立場がいいと言われた。しかし、行事が沢山あって教員も疲弊気味。どこの部会でも人手不足で期限付きが役員にされる場合が多い。加配は思っている以上にサポートがなく孤独なので、声かけを心がけている。

学校運営協議会で学校の基本的なことを話し合う。そこで、予算の配分や保護者負担について事務職員が話すべき。なので、役員会に入って予算の策定に関わる既配の事務職員が参画するべき。

同じ事務職員という職名の人間が切り離されるとするのは良くない。

資料1:今年で9年目。完全に定着しているので他とは違うとを感じるが、単年度で変わるより長いスパンでやってほしい。

資料2:6年目。仕事を断るのが大変。

資料6:チャレンジテストの準備と入力をしているが、採点はしてほしくない。給食、徴収金は重いので、配分予算を次年度やってもらおうかなと思っている。加配はコミュニティスクールしかやらない状況を打開したい。教育課程と事務職員が関わるところを攻めていきたい。

・加配のことは経験してないと分からないところもある。

・事務部会に出ると、仕事の見通しも立つし、孤独にならずに済むのでは。

・他の市町村では、部会に加配は出てくるのか？→場所によって違う

・加配と事務職員があわせて幅が広がればいい。1+1が2.5とかになればいい。